

## 芸術の森地区町内会連合会

広報

## やませみ

第15号

平成12年6月30日

発行 芸術の森地区  
町内会連合会  
印刷 (株)辻孔版社

## 地域を支えた人



札幌市豊平区大字平岸村字  
真駒内御料地小滝の澤無番地。  
ここが佐々木鉄良氏の生まれ  
故郷、昭和四年八月二十一日、  
父長太郎氏、母フジさんの三  
男としてこの地に生まれた。  
祖父佐々木長吉氏は山形県酒  
田市出身、農業に従事してい  
たが明治末期来道し最初は藻  
岩下のりんご園で働いていた  
という。お話をききつつ往時  
の苦闘がしのばれた。大正初

二区町内会役員として二十年、  
地域の発展と隆盛に貢献

## 佐々木 鉄良 氏

期小滝の澤へ入植したのは佐々  
木長太郎、小竹賀蔵、寺田由  
太郎、内田仁作、日黒清松、  
池田三次、奥天金松、尾友松  
太郎、高田某、北原某、西口  
某など十一戸、豊かな湧水に  
恵まれていたことで沢道に沿  
て農家が点在した。氏は小滝  
の沢の自然の中で父母の懸命  
に働く姿を見て成長し、  
昭和十四年、第二十三回生と  
して土場小学校を卒業後両親



四月三十日(日)十六時より芸術の森地区町内会連合会(連町)の総会が開催されました。連町理事と代議員出席のもと伊藤正会長の開会挨拶後、議長に駒岡団地町内会長井村愿之氏を選出、議案の審議に入り、十一年度事業報告、決算報告、監査報告が承認され、次いで平成十二年度重点活動方針が伊藤会長より発表されました(前掲)。

●専門部分担  
(総括) 総務部長 高橋稀一  
女性部長 志羅山郁子  
青少年部長 大村秀明  
体育部副部長 佐藤優司  
体育部副部長 佐藤優司  
交通安全部長 井村愿之  
環境衛生部長 片山富次郎  
防犯防災部長 定池教章  
文化部副部長 高橋見晴  
中野登(常盤台)

平成十二年度事業計画案、予算案及び規約改正案が原案通り可決されました。本年は役員改選期ではないので三役、監査は変更はないが、単町会長改選及び連町強化の為、体育文化部の分離独立、青少年部門の新設等による専門部分担一部変更があつたのでお知らせ致します。

女性部長 志羅山郁子  
青少年部長 大村秀明  
体育部副部長 佐藤優司  
(育成推進会)  
体育部副部長 佐藤優司  
(石山東スポーツ振興会)  
交通安全部長 井村愿之  
環境衛生部長 片山富次郎  
防犯防災部長 定池教章  
文化部副部長 高橋見晴  
中野登(常盤台)

と共に農業に従事した。戦後になり引揚者等五戸が入植するが、その頃が小滝の沢の全盛時代。戦後の経済発展により昭和三十年頃から離農が進み、氏も四六年現在地(常盤二九〇番地)に転居した。小滝の沢は四七年最後の農業専業者小竹チヨさんの離農で無人となつた。

その間鉄良氏は昭和五十三年(六〇年)は社会教育部長として部落の発展につくし、六十年(六十四年)副会長として会長を補佐し平成二年(五年)二期に亘り七代目町内会長として地域発展の為につくされた常盤二区部落会が設立され初代会長に阿部与四郎氏が選任され、以来現在に至る迄九代に亘り町民一体で真剣に町づくりを考え実践し、明るい住ます。

平成12年度  
重点活動方針

- 一、芸術の森地区二十一世紀ビジョンの実現
  - ①真駒内川流域の自然保護と洪水の防止
  - ②国道四五三号の拡幅四車線化、歩道の整備、街路灯の充実
- 二、芸術の森地区福祉協議会との連携強化
  - ①常盤中学校区青少年育成推進会との連携強化
  - ②福祉ボランティアの育成
  - ③福祉協議会、福祉部、福祉のまち推進センターの連携強化
- 三、青少年活動の充実
  - ①常盤中学校区青少年育成推進会との連携強化
  - ②駒岡地区的環境整備
- 四、交通環境の整備
  - ①地下鉄一駅延長
  - ②石山西岡南(通称・駒岡越えの道)の冬季開通
- 五、要望・陳情
  - ①交番の設置
  - ②駒岡地区的環境整備

## 芸森地区連町総会開催される

総務部副部長 藤澤昭  
(広報)  
総務部副部長 関口明  
(会計)  
総務部副部長 西野忠士  
(街づくり)  
文化部長 中野登(常盤一区)  
(サンライト)  
文化部長 西野忠士  
(常盤一区)  
(常盤一区)  
文化部副部長 高橋見晴  
(見晴し)  
文化部副部長 中野登(常盤台)  
(常盤台)  
文化部副部長 高橋見晴  
(見晴し)  
文化部副部長 中野登(常盤台)  
(常盤台)

▲一昨年の十月から市内の中学に「心の教室」が設置され、その教室には、教育に関心が深く、学校と地域のパイロット的な一般人が相談員として年間四百時間配置されている。

▲教師だけの聖域であつた学校教育の現場で、「心の教室」が軌道に乗るか、否か、教育委員会も不安であつただろうし、聖域の扉を開けた相談員は手探りの状態のなかで大変な苦労であったと思う。

## やませみの眼

▲相談員交流会での中心の話題は男子生徒のボタンをつけてやりながらそれとなく話しかけて心を開かせた話し、女生徒の失恋話に耳を傾け、生徒の心を広げるお母さん相談員の健闘話、学校祭の出し物にフラダンスを教えた元校長先生相談員の苦労話、先生もお手上げな生徒と友達になり成功した話等が結果となり成功した話等が結果となりつづつあることを感じた。

▲二〇〇二年から小中学校の教育課程が大幅に改定になり知識や経験を基に知識のある子供を育成するため、地域の自然や社会事象に関心を持ち、自分から地域の人材を学習活動に参加させることで新しい風が吹くことは、日本の教育が新しい方向に歩み出かけられる。

▲常盤小学校では、本年度より地域の移行措置に踏切り、各町内会長に協力を依頼している。担任教師の王国であつた教室に新しい風が吹くことは、日本最短距離は、学校が教師の占有物から開放され、広く地域社会の共有物となることである。

## 芸術の森地区社会福祉協議会 会長 櫛引清和

平成十二年五月十日、社会福祉協議会総会も、無事出席者多数の皆様のおかげを持ちまして、十一年度事業報告、会計報告、同監査報告等全て承認され、次いで平成十二年度の事業計画案、予算案が提案通り可決致しました事を御報告致します。

我々社会福祉協議会は如何にこの地区に住んでおられる皆様方が安心をして暮らし、少子化、高齢化に向かう中、少しでも皆様方のお役に立つよう地域の方々と話し合いを重ね前向きに進んで行く事が今後の進む

べき道だと考えております。その為にもどうぞ地域の皆様方のご意見をお寄せ下さい事をお願い致します。

また本年四月から施行されましたが介護保険につきましてもまだまだ我々も勉強不足であります。地域の方々が安心し生活していくだけ窓口に貴重なご意見をお寄せください事をお願いいたします。又最近は児童虐待等の様に、各単位の福祉部長、推進委員の方々、民生児童委員の皆様と話し合いを重ねて、地域ネットワークを作り上げていきたいと考えております。

六月十八日(日)十時より芸芸森会館にて、札幌市社会福祉協議会地域ケア推進部長・岩見太市氏を講師に迎えて『みんなが支え合う福祉のまち作りをどの様に進めたらいいのか』具体例を交えながらのお話、介護保険の今迄の歩み、又患者の家族への依存から、自立に至る話は考え方やお年寄りの方々にも聞いて貰いたい内容であり、有意義な二時間の研修会でした。

## ◆交通安全スローガン

### スピードダウンとシートベルトの2つのSで安全運動



交通事故の原因として歩行者、自転車利用者側の基本的な交通ルールの欠如によるものが多く見受けられる。特に高齢者の交通安全教育の充実に努めたい。

一、交通安全教育の充実  
交通事故の結果満場一致で可決。引続いて懇談会に入り参加者全員で「無事故」と今後の健闘を誓い合って散会しました。

■本年の運動の重点施策  
1、交通安全教育の充実  
交通事故の原因として歩行者、自転車利用者側の基本的な交通ルールの欠如によるものが多く見受けられる。特に高齢者の交通安全教育の充実に努めたい。



六月八日(木)午後十時半より地区会館前にて南署、正職員、連町役員、女性部員等総勢六十五名の参加者が街頭啓発。横断幕やスピードダウン、シートベルト着用の小旗を振つて安全運転を呼びかけました。

## 交通安全運動推進委員会総会開催

### 初夏の交通安全 キャンペーン実施

### 常盤児童会館運営委員会平成十二年度総会

### 雪中運動会

### 石山東

#### 常盤児童会館長が異動



四月一日付で館長異動があり、新館長に清田中央児童会館から大高圭一館長が着任しました。なお三好達也前館長は、札幌市こどもの劇場「やまびこ座」主任指導員として転出しました。

競技はパン食い競争から始まり、ソリ引き競争、雪中ドッジボール、ストラップアウト等の競技を楽しく行いました。又、休憩タイムには、スポーツサークルのお母さんたちのつくった、豚汁に舌づみをうち、おいしい甘酒も飲みました。

そして、当振興会理事の駒岡團地の詫間氏所有のスノーモービルの試乗会も行われ、たくさんの子供達が始めて乗るスノーモービルに歓声を上げていました。最後に毎年恒例のお楽しみ抽選会が行われ皆様に喜んでいただきました。

晴天に恵まれ来年の再会を誓い運動会を終了しました。



## 無料 見学・墓参バス運行中

### 真駒内滝野靈園

永久に生きる花と緑の明るい聖地

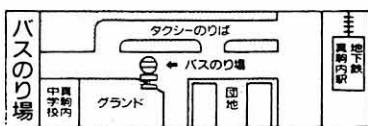
札幌市許認可霊園

時間	午前 10:00
	午後 12:00
	午後 2:00

※但し、毎週水曜日運休

お問合せ・  
お申込みは

真駒内滝野靈園事務所 ☎(011)592-1223



地下鉄



## コンセプトを明らかにしよう

# 真駒内川の改修工事

芸術の森地区が石山連町に含まれていたころから、真駒内川の改修が大きな課題となっていました。昭和五十六年の豪雨による真駒内川の洪水によって真駒内川でマンションが傾く被害があり、札幌土木現業所の手で、豊平川との合流点から改修工事が進み、既に真駒内一号橋（石山陸橋付近）まで完了しています。

☆第一に真駒内川を蘇らせる  
昨年「さくら鱒」が回帰しましたが落差工のため遡上できませんでした。落差工は真駒内川を殺しています。川を蘇らせることが最大の課題です。

棲息調査を行い、工事設計にして地元住民を対象に「意見交換会」を三度開いています。真駒内川改修の問題点を話題としてお伝えします。

### 連町の基本方針

連町では、本年度の総会で重複活動方針の仲で「真駒内川流域の自然保護と洪水の防止」を

基本理念とし、真駒内川改修対策委員会で関係町内会の意見を求めて、それを基礎に具体的に応していくことが決定されています。

☆第二に河川敷を広げること  
明治以来、この辺りの真駒内川は次第に東側に追いやりられ川幅は狭められ、コンクリートの護岸で直線化され、川の命を失っています。

川がユックリと楽しく蛇行できるよう最大的努力が必要です。☆第三に現堤防内の植生を守る現堤防内は柳を中心とする樹木や草が茂り、魚が住める環境を作りつづります。

現堤防内の工事は落差工の撤去を中心にして最小限とする

ことが必要です。

☆第四に洪水防止の第二堤防を設けた五点及びその他についての御意見をお寄せください。将来に禍根を残さないために、皆様の意見をメモ書きで結構ですから、是非お寄せください。それらを参考にして連町としての理念を固め札幌土現業所と交渉します。

（対策特別委員長）

# みなみハミングフェスタ2000 開幕せまる!!



▲ハミングフェスタ'99

## 臨時バス時刻表 中央バス(有料)

■7月15日(土)	
サンブライド→藻岩高校前	14:30 15:40 16:40 17:40
藻岩高校前→サンブライド	
16:10 17:10 18:10 19:10	
■7月16日(日)	
サンブライド→藻岩高校前	9:30 10:30 11:40 12:40
13:40 14:40 15:40	
藻岩高校前→サンブライド	12:10 13:10 14:10 15:10
16:10 17:10	

※各所要時間20分

○七月十五日(土)、十六日(日)の両日、「藻岩公園」を会場に開催されることが南区連合町内会長連絡協議会(10連町)で決定しました。今年も市民が中心となって企画し「市民手作りの夏祭り」として運営されます。出店も同じく南区女性団体連絡協議会(女連協)が担当して実行委の直営で運営されます。芸森地区連町女性部では毎回大好評のフライドポテトの販売をします。皆様方の御協力と参加を切にお願い致します。  
なお「ハミングフェスタ」のパンフレット(野外ステージスケジュール表等含む)は各御家庭に配布済みですので御参照下さい。

南区の夏祭り「みなみハミングフェスタ'2000」

○七月十五日(土)、十六日(日)の両日、「藻岩公園」を会場に開催されることが南区連合町内会長連絡協議会(10連町)で決定しました。今年も市民が

常盤地区の冬のイベントとして、すっかり定着した感のあるスノーフェスティバルも、本年で第9回目を終りました。今は好天にも恵まれ、二百数十名の参加をみました。以前の「体振」の行事は、春の空沼岳清掃登山、夏のソフトボール大会、

達と共に、「歩くスキーの集い」を開催したのがその始まりです。数年後に現在の常盤公園へ会場を移し、常盤小学校PTAの協力を得て現在の形となっております。とかく引き籠もりがちな寒い冬ですが、市内にも完備された屋内競技場や学校体育館の開放等まで冬期間も体を動か

すには事欠かない時代となつておりますが、たまには雪とたわむれ、雪と親しむことも楽しいものです。

このイベントがいつ迄も続く事を願います。(連町体育部)

# 常盤スノーフェスティバル 「雪と遊ぼう」



## ふれあいとくつろぎの施設 札幌市保養センター

# 駒岡

芸術の森地区町内会連合会の皆様に快適な憩いの場をお約束いたします。



社会福祉法人 札幌市福祉事業団 札幌市保養センター駒岡  
札幌市南区真駒内600番地20 ☎583-8553

## 郷土の文化財



地山を示す東正治氏

大切にしたい開拓の遺品  
トロッコのレール・マクラ木の釘・地山

明治四十年頃石山から常盤神社下（当時の神社は二号橋上流五百メートルの所、現在の辻石材採石所の辺り）にあった。神社が現在地に移ったのは大正六年九月四日と言われている（までトロッコレールが敷かれ、軟石の切り出し、運搬が行われた。最初は手押し、後に馬で引いた。常盤一帯は軟石の産地でトロッコの終点辺りは最も多かった。そのレールの道を大正二年以後に改修して常盤道路としたと言つ。そのトロッコレールを支

えている『マクラ木一本と釘』を保存している東正治氏をお訪ねして出土当時の話をきき、又マクラ木のあつた地山を案内して頂いた。トキワ病院元院長毛裏にレル地山跡が残っていた（写真参照）。マクラ木の大きさは(L)一、(W)二〇〇耗×(H)一〇耗×(W)一〇耗×(H)一〇〇である。大きくはないがガッチャリして固かった。何人かの人に

地区会館で芸術の森地区懇談会が開催された。南区役所からは東健二郎南区長をはじめ市民、

五月十九日（金）十七時から芸森地区懇談会が開催されました。南区役所からは東健二郎南区長をはじめ市民、

幌市長期総合計画・第一次五年計画を基調とし配布されたパンフレットを参考にして関係者から施策の説明を真剣に聞き入っていました。終りに新任の吉田俊雄連絡所長より本日出席職員の紹介があり、前任田口所長が南清掃事務所長として出席していました。次いで懇親会に入り、各員と各所で話に花が咲き、時間切れに伴い心を残しながら散会しました。

☆新所長吉田俊雄氏の素顔  
昭和二十一年十月十七日紋別市生れ。紋別高校卒業後札幌市役所税務局に始まり交通局、国保本



吉田俊雄所長



三橋正二氏

芸森女性部主催  
「文化講演会」

去る、

二月二十

四日木曜

日十時か

ら、芸術

の森連

合町内会

の森地区

会館にお

いて、芸

術の森連

合町内会

の森地区

会館にお

いて、芸